ベルンドルフ市

ベルンドルフ市は、オーストリア共和国の首都ウィーンから南南西へ約50km離れた位置にある人口約9,000人の山間にある都市です。日本と同じく四季があり、気候は温暖ですが寒暖の差が大きく、冬の寒さは厳しい街です。

ベルンドルフは、12世紀頃の記録にある歴史のある都市で、築100年以上の家が多く建っており、1898年に完成したベルンドルフ市民劇場は、市の宝として愛され続けています。

代表的な産業には銀食器と松ヤニがあります。銀食器は、現在も国内外で多くの人に愛用され、松ヤニは弦楽器の弦に塗布するために多く生産され、香料や薬品にも使用されています。

ベルンドルフの市章には、「銀のスプーンを持った熊」があしらわれています。